

「患者様が受けられた医療に関するアンケート」へのご協力をお願い

ガラシア病院では下記の臨床研究を実施しております。通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行う研究は、厚生労働省の「人を対象とする生命化学、医学系研究に関する倫理指針」の規定により研究内容の情報を公開することが必要とされています。

情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので下記の連絡先までご照会ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

1. 研究課題名

遺族によるホスピス・緩和ケアの質の評価に関する全国質問紙調査(J-HOPE5 研究)

2. 研究の対象

2024年1月31日以前にガラシア病院ホスピス病棟で亡くなられた患者様のうち、選択基準を満たす80名のご遺族。

本研究への参加に同意した全国の施設(2023年12月18日現在166施設)から各施設80名ずつ、全体で約13000名にご協力をお願いする予定になっています。

3. 研究目的

1) 遺族様から見た患者様が受けた緩和ケアの質の評価と、遺族様の悲嘆や抑うつの実態について明らかにすること。

2) この研究に参加した各施設に緩和ケアの質の評価と遺族の悲嘆や抑うつの結果を各施設に伝え、それを今後のケアに反映させることにより各施設が提供する緩和ケアの質を保証し、質改善のための情報を提供すること。

3) この研究に追加的な研究を実施し、日本の緩和ケアが直面している臨床的・学術的課題に対して科学的な調査研究を行うこと。

研究期間は、研究許可日～2028年12月31日です。

4. 研究方法

当院からお送りするアンケート用紙(「患者様が受けられた医療に関するアンケート」)にご回答いただき、事務局(東北大学)に返送をお願いします。アンケートは無記名です。診療情報(下記)は、当院で電子カルテより収集し事務局(東北大学)に提供します。

5. 研究に用いる試料、情報の種類

- 1) 医療・ケアに関するアンケート(「患者様が受けられた医療に関するアンケート」)
- 2) 診療情報:年齢、性別、がんの原発部位、緩和ケア病棟入院日、死亡日

6. 外部への試料、情報の提供

研究に利用する試料や情報を院外に提出する場合には、お名前、住所など個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けて提出します。また研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。試料や情報は、当院の研究責任者及び情報の提供先である宮下光令(東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野)が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

7. 研究組織

・研究事業責任者

東北大学大学院医学系研究科 宮下光令

・研究事業運営委員

聖隷三方原病院緩和支援医療科 森雅紀

聖隷三方原病院緩和支援医療科 森田達也

京都大学院医学系研究科 恒藤暁

東北大学大学院医学系研究科 青山真帆

・研究参加施設

各都道府県厚生局で公開されている緩和ケア病棟(460 施設)のうち、本研究への参加に同意した施設(2023年12月1日現在で166施設)

8. お問い合わせ先

〒562-8567 大阪府箕面市粟生間谷西 6-14-1

ガラシア病院ホスピス ホスピス長 伊藤則幸

電話:072-729-2345